



# 柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

## 広域最終処分場候補地選定進む

昨年、第40号で「エコパークいずもざき」視察の報告と合わせて、上越地域における「広域最終処分場候補地検討委員会」が立ち上げられ、候補地が選定されていることを報告しました。4月20日開催の地域協議会で、新潟県からこれまでの経緯、最終処分場の概要の説明があり、現地調査や環境条件、建設条件、運搬条件の再評価などの結果、3月の候補地検討委員会、5か所（柿崎区4か所）の候補地に絞り込まれたことが報告されました。

### 委員からは

- ① 植生などの環境条件の現地調査について
  - ② 隣接の柿崎市に接する候補地の柿崎市への周知について
  - ③ 選定過程の情報公開について
  - ④ 処分場の浸出水の農業用水への影響について
  - ⑤ 配布資料の候補地番号の意味についてを質問しました。
- 県担当者からは**
- ① 環境アセスメント現地調査は、私有地へ立ち入り等が困難であり、今後候補地が決定されれば詳細に行うことになる。
  - ② 柿崎市への説明は今後行う。
  - ③ 情報は原則公開であるが、県の公開条例に基づき委員会において公開範囲が整理・確認されている。

④ 浸出水は、浄化した上で放流するが、農業用水路には流さない。

⑤ 資料の候補地番号はあくまで便宜上のものである。

との回答がありました。検討委員会はずでに終了し、地元への説明会が始まっています。県へ情報公開、丁寧な説明をお願いします。なお、候補地の詳細や検討内容等は、県のホームページで公開されています。皆さんと検討していきたいと思えます。



### 候補地



### 整備目標スケジュール

項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	～	2028	2029	2030	2031
基本方針		○									
候補地検討委員会		→									
候補地選定			(複数)	○							
地元、関係者説明			→								
基本計画			→								
用地交渉					→						
環境影響評価						→					
実施設計								→			
建設工事									→		
供用開始											○

## 路線バスアンケート結果 廃止の場合は 6 割が代替運行を望む

現在、柿崎区内では、路線バス水野線・黒岩線が運行されています。人口減少、少子高齢化が進行している中で、公共交通の重要性がより高まっています。路線バス水野線・黒岩線ともに利用者が減少し、1 人当たりの利用者数が 1 人未満となつてしまいました。第 2 次上越市総合公共交通計画においての評価結果では、1 人当たりの利用者数が 1 人以上にならない場合は、路線廃止・住民の互助による輸送への転換となつていきます。互助への転換を図るため、住民の皆様へのニーズや利用実態に対応した運行方法を考えていく必要があると考えています。

### 「地域の交通を考える会」としては…

バス運行の代替えはできないものか。県内各所に視察に行ったり市の担当者の方々と会議を重ねたり、何かできることはないものかと模索してきました。そこで、黒川・黒岩地区の住民の皆様へ路線バスの利用実態やご意見を伺い、今後の計画作りに反映していくため、3 月、中学生以上の皆様を対象にアンケート調査を実施しました。

アンケート調査には約 9 割の回答をいただき、その中の約 6 割の方から「代替え運行を考えてほしい」との回答をいただきました。

### 結果を踏まえ…

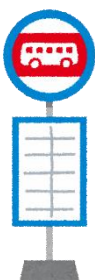
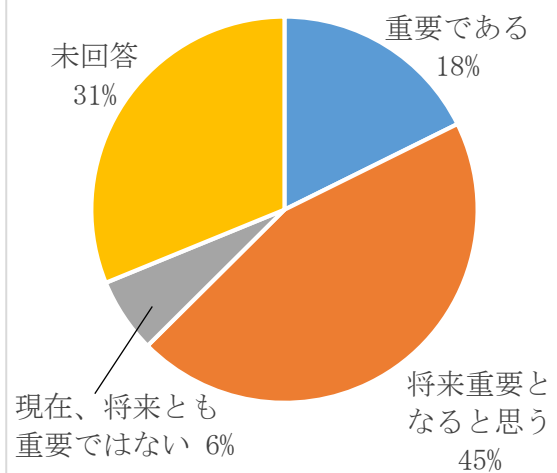
何らかの形で代替運行を提言し、実行に移したいと考えています。具体的な運行案はまだ決まっていますが、今後協議を重ね報告したいと思います。

### 路線バスに関するアンケート対象者等

#### 町内会別回答状況

町内会名	対象者数	回答数	未回答	回答率
高畑	23	22	1	95.7%
岩手	73	73	0	100.0%
下灰庭新田	33	33	0	100.0%
芋島	113	99	14	87.6%
松留	37	27	10	73.0%
上中山	61	35	26	57.4%
猿毛	29	15	14	51.7%
城腰	1	1	0	100.0%
水野	19	19	0	100.0%
下牧	9	9	0	100.0%
岩野	31	24	7	77.4%
米山寺	123	122	1	99.2%
東横山	6	6	0	100.0%
南黒岩	24	24	0	100.0%
北黒岩	18	18	0	100.0%
合計	600	527	73	87.8%

### Q. 路線バスは、生活に重要ですか



## 令和3年度 地域活動支援事業 採択事業紹介(提案順)

No.	事業の名称	団体の名称
1	第 4 回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会
柿崎区の寺院を会場に、ものづくりを趣味として制作している作品の作品展を開催することにより、市民同士の交流を深めるとともに、ものづくりへの制作意欲の向上を図る。(補助額 270 千円)		
2	柿崎まちづくりカレンダー作製事業	柿崎まちづくり振興会
柿崎区における各行事の参加意欲を高めるとともに地域の一体感の醸成を図るため、行政や関係機関、町内会等の主な行事を記載したカレンダーを作製する。(補助額 500 千円)		
3	黒川・黒岩ふれあい事業	16 ピース
黒川小学校の閉校を機に、黒川・黒岩地域に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校のグラウンド等の整備、ふれあいまつり、米山古道の散策等を実施する。(補助額 1,000 千円)		
4	密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業	米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会
密蔵院周辺と米山登山道の道標の修復、草刈り、倒木除去、植物名の札の設置や「古道を歩く会」の定期開催を実施し、県内外からより多くの観光客の来訪を期待する。(補助額 187 千円)		
5	ドーム周辺花いっぱい事業	花うえの会
かきざきドーム周辺の花壇に花を植えてきれいにし、訪れる人たちの心のオアシスとなる施設にするとともに、他の花うえグループとの交流を通じて植栽技術を高める。(補助額 224 千円)		
6	柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業	柿崎農業の未来を考える会
柿崎区の農業に対するイメージや将来展望についてのアンケート調査を行い、農業者、非農業者、農業者世帯の非農業者それぞれの農業のイメージをデータとして取得し地域ビジョンの策定を目指す。(補助額 368 千円)		
7	坂田池園地桜植替え事業	柿崎観光協会
てんぐ巣病や高齢化した坂田池周辺園地の桜の植え替えを行い、観光資源としての坂田池の景観を維持し、観桜会などのイベントを開催することにより交流人口の拡大に寄与する。(補助額 821 千円)		
8	かきざき湖八重桜広場の八重桜植樹事業	ガンバ米山
かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹・手入れ作業を通じて、地域の方々との交流を図るとともに、柿崎川ダム・米山・尾神岳等を見渡せる新たな桜の観光名所を目指す。(補助額 341 千円)		
9	柿崎夕日フェスティバル事業	柿崎夕日フェスティバル実行委員会
柿崎区の観光資源である「海」と「夕日」を活用し、上下浜小学校児童のマーチングバンドや地元住民のフラダンスによる交流人口の増加と地域の活性化を図る。(補助額 247 千円)		
補助額合計		3,958 千円

6 月 8 日 (火) に第 4 回地域協議会を開催し、提案された 9 事業 (補助額 3,958,000 円) を採択しました。柿崎区の配分額は 7,100,000 円のため、3,142,000 円の残額となりましたので追加募集を行います。

■追加募集期間 6 月 28 日 (月) ~ 7 月 12 日 (月) ■追加募集額 3,142,000 円

事業提案書、補助金交付申請書等の様式及び Q & A は、柿崎区総合事務所総務・地域振興グループの窓口で配布します。また、市のホームページから様式の電子データをダウンロードすることもできます。なお、応募を考えている団体は、事前に柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ (☎536-6701) へご相談ください。

## 柿崎空き家活かそうプロジェクト

柿崎空き家活かそうプロジェクトは、柿崎の人口減少、少子高齢化が要因となっている公共施設の存続問題などのさまざまな課題を検討する中で、空き家を活用した定住化の促進や地域の活性化により課題解決を図ることを目的として立ち上げたプロジェクトです。

昨年 11 月から本格的に検討を開始し、最初は空き家の実態を知ろう、学ぼうと、衛生や景観、安全面などの問題となる空き家に対して、行政がどのように関わっているのかについて市役所の担当者から説明を受けることからプロジェクトはスタートしました。その後は上越市内や県内外のさまざまな空き家の活用事例情報を持ち寄りましたが、検討を進める中で柿崎の地域性、特性に当てはまるような活用の仕方が大切ではないかということになりました。そこで、県外出身者の地域おこし協力隊員にも協力してもらい、「そもそも自分たちが住んでいる柿崎って、どんなところなのだろうか、主な産業は、自然環境は、道路や鉄道、公共施設などのインフラの整備状況は」というような地域性や特性について認識を深めるための検討も行いました。

こうした検討を経て、今は住民の皆様から賛同を得られるような定住化の促進や地域の活性化につながる具体的な空き家の活用方法について検討を重ねているところです。

委員長 蓑輪和彦

## 柿崎区地域協議会の主なうごき(令和3年4月～令和3年6月)

会議名	開催月日	主な内容
第 7 回地域の交通を考える会会議	4 月 13 日	今後の交通の在り方を考える
第 1 回地域協議会	4 月 20 日	上越地区における広域最終処分場の整備に向けた候補地選定について
第 8 回地域の交通を考える会会議	5 月 7 日	代替運行の方向性と形態について
第 2 回地域協議会	5 月 11 日	令和 3 年度地域活動支援事業について
第 6 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	5 月 18 日	問題点の整理と今後の検討会議の方向性について
第 9 回地域の交通を考える会会議	5 月 21 日	互助による輸送に対する補助制度について
第 3 回地域協議会	5 月 25 日	地域活動支援事業プレゼンテーションの開催
第 4 回地域協議会	6 月 8 日	地域活動支援事業の採択決定
第 7 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	6 月 15 日	空き家プロジェクトの検討報告の原案の検討

### 【編集後記】

去年に引き続きコロナ禍で、今年には新型コロナウイルスの感染者が新潟県でも拡大してきました。すでに、各地でイベントの中止も出てきました。ワクチン接種も始まり、終息に向け期待したいものです。

今、地域協議会が取り組んでいる柿崎区の地域課題の「地域の交通を考える会」「柿崎空き家活かそうプロジェクト」など、行政を交えた意見交換を行っています。課題は山積ですが、地域の皆さんに良い報告ができるよう取り組んでいきたいと思えます。

(片桐宏記)

編集委員長 片桐 充

編集委員 岩野秀樹 薄波清美

貝谷雅子 片桐宏樹

小出祥世 小山 慶

### 地域協議会を傍聴しませんか？

開催日程は、防災行政無線でお知らせします。詳細は柿崎区総務・地域振興グループへお問い合わせください。

TEL 025-5669-2611